



2 0 2 4 年 度
公 益 社 団 法 人 呉 青 年 会 議 所
年 間 事 業 報 告 書

理事長 報告

理事長
三戸 規弘



基本方針

選ばれるまちの創造
選ばれ続ける組織の構築

スローガン

海闊 ～まちと共に～



大海が広々としていることを指して「海闊」といい、言葉や発想などが限りなく広がることのたとえとして用いられます。呉のまちは、「此呉湾ヲ除キテ他ニナシ」という旧帝国海軍の調査のもと、1889年に海軍区「鎮守府」の地として選ばれたことにより発展の口火が切られました。

その後、戦中は東洋一の軍港として発展を遂げ、数々の戦艦を造り、最終的には戦艦大和の建造に成功しました。惜しく大和は沈んだものの、巨大船を造船した技術が、戦後にももの造りのまちとして拡大する要因となりました。このように、呉のまちは、海を起点として広がってきた「海闊」のまちであるという確信から、理事長所信に繋がりました。2024年度は、基本方針を「選ばれるまちの創造」「選ばれ続ける団体の構築」、スローガンに「海闊」を掲げ1年間活動して参りました。



詳細につきましては、各担当の報告書をご覧くださいと存じますが、年間を通して重きを置いた事は、歴史や前年度の踏襲ではなく、青年らしく変化を恐れず、柔軟な発想を出し、今の自分から少しでも成長する事でした。コロナ禍を経て、在籍年数も経験数も浅いメンバーが会の中枢を担っていかなければならない現状の中、青年会議所でしか出来ない経験をしてもらう事が持続可能な組織づくりに繋がります。

選ばれるまちの創造という基本方針の下、事業をする上で最重要とした点は、徹底した現状の把握と新しい発想です。現状の把握という点では、呉市は全国でもワーストクラスで進む少子高齢化、大規模製鉄所の撤退など大きな転換期を迎え、観光という点では大和ミュージアムに頼る現状があり、呉市の滞在時間が2時間から3時間程度しかないという現状がありました。



このままでは、呉市は持続可能なまちであり続ける事は出来ないのではという圧倒的な危機感を持つ所から始めました。そこから紐解き、築いた事業が既存の呉のお祭りである「呉みなと祭」を活用し、呉市で活躍する観光事業者に対して一緒に呉の魅力を発信しようという事業です。昨今では、世界中どこにいてもインターネットやSNSを通じて世界中の人に情報を展開出来る時代です。呉市民だけで盛り上がっている、呉市民だけが知っているだけで終わるのではなく、呉の魅力を多くの人に知って頂き、呉に来てもらう。この事業を通じて、呉市で活躍する観光事業者の皆様にとっても当たり前でありすぎて気が付かなかった呉市の魅力に気が付く事が出来たという言葉頂きました。もう1つの選ばれる続ける組織の構築という基本方針の下、事業をする上でメンバーと常に共有させて頂いた事は、「選ばれる」ではなく「選ばれる続ける」という観点でした。過去には青年

会議所しかないと言われていた時代もありましたが、現在では呉のまちにも多くの組織があり、それぞれが独自の成長の機会を得る為に活動しています。その中で、青年会議所は全盛期の会員数からみると現在では約3分の1まで減っていました。この現状を会員全員で把握し、持続可能な組織にする為に活動を行いました。

広報活動においては、メンバーの成長を伝える為に新たな試みである呉JCPocky!というラジオを展開し、在籍するメンバーを中心に出演し、呉市内はもちろん、SNSを通して多くの方に発信を行いました。呉市内の方はもちろん、市外や県外の方や青年会議所メンバーからも新しく面白いという言葉頂きました。拡大活動においては、組織を持続していく上で最重要課題であり、まずは青年会議所を選んで頂く事を熱意と情熱を持って活動しました。多くの組織がある中で、青年会議所の強みは何か、他組織との違いは何なのかを明確にし、決して自分たちの事を誇る事なく拡大活動を行った結果、会員数の純増に成功しました。

組織運営においては、歴史に基づく強みを知る組織づくりを徹底して行いました。これは呉青年会議所が71年の歴史を持ち、多くの先輩達のおかげで今我々が活動する事が出来ているという再確認と、先輩諸兄が紡いだ経験を、現役会員が継承出来る流れをつくる事が目的でした。1年間、例会を通して過去から学ぶ時間を作り、現役メンバーで共有する事で呉青年会議所の歴史と先輩諸兄の貴重な経験を共有する事が出来ました。



また、本年度は広島ブロックアカデミーを主管するという機会を頂きました。これは広島ブロック協議会に属する県内12青年会議所の入会1年から3年未満のメンバーを中心とするアカデミー事業です。県内から多くのメンバーが呉の地に集い、青年会議所についての学びや、まちを越えたメンバー間の交流を図る事が出来ました。また、呉青年会議所が主管をさせて頂く事は10年ぶりであり、10年前に主要メンバーであった先輩から多くの話を聞く機会を頂きました。呉青年会議所が一丸となって取り組む事が出来た大変貴重な事業を経験させて頂き、呉青年会議所メンバーにとってこの先に必ず生きていく経験となりました。



結びになりますが、呉青年会議所は71年間続いて来た団体ですが、どの時代も「正解」というものが分かっていた事はないと思います。正解の見えないまちや組織の課題に対し、全力で取り組み、言葉や発想を広げてきたからこそ、今日まで選ばれ、続けてきた団体であると改めて感じる事が出来ました。引き続き、「選ばれるまち呉」そして「選ばれ続ける呉青年会議所」である為に活動して行くことをお誓い申し上げ、2024年度呉青年会議所理事長としてのご報告とさせて頂きます。本年度関わったすべての方々に感謝申し上げます。1年間有難うございました。

副理事長 報告

副理事長
金子 健太郎



本年度は会員拡大・アカデミー委員会と10年ぶりの呉主管となったブロックアカデミー実行委員会の2委員会を受け持った。大本委員長はブロックアカデミーという県内12LOMを対象とし、呉ならではの規模、魅力、そして大いなる成長の機会の提供という大きなミッションをやったのけた。日々の社業や家庭の時間から必死に捻出した時間を費やし、私の目の届かないところでも相当の時間と労力を副

委員長や幹事、委員会メンバーや同期委員長、そして開催LOMの出向委員長や他LOMメンバーとの調整を繰り返し行い、共にかけがえのない経験を積んだ。9月には次年度の拡大へと繋ぐべく一般参加者を募り、呉青年会議所の活動の周知という二刀流のコンセプトを含んだ異業種交流会をやったのけた。この日に向けた度重なる調整や、実施に向けた多岐に渡る準備の中で大本委員長の醸し出す、何事にも構えず、大船に乗った気にさせる特性は、この1年間でより研ぎ澄まされたリーダーシップへと昇華した。その経験値は彼が次年度の役職を受けるための重要な礎となった。

JC活動を続けていく上で、会員拡大は永遠の課題である。またこの呉市、日本全体においても生産性を維持・向上させていくためには人材の確保は避けて通れない。人材を集めるために必要な要素を上げればキリがないが、拡大アカデミーを担当した石原委員長は「頑張る人のもとには共に頑張る仲間が集まる」という、一見簡単であり最も難しいと思われる方法で現役メンバーからの信頼を集め、18名という仮入会員の獲得、最終的に8名の新入会員を迎えることが出来た。つべこべ言わずに人に会い、声がかかればいつでも駆けつける、彼の本来の特性である、正直でアグレッシブなリーダーシップに磨きがかかった。その一方で立ち止まり、悩むことの多い1年だったのではないか。しかしながらその経験が彼のスピーディな行動力と、周囲を見渡す慎重さを併せ持った人材へと成長させた。大本委員長、石原委員長の両名の今後の活躍に大いに期待している。

副理事長 報告

副理事長
串山 哲也



2024度、呉青年会議所は三戸理事長が掲げました「海闊～まちと共に～」のスローガンのもと、活動しました。私は、呉ファン創造委員会とV i v i d広報委員会の副理事長として担当させて頂きました。

まず定森委員長の呉ファン創造委員会は「海で選ばれるまち」を目指し、「観光」をテーマに4月に「呉みんなと祭～ようこそ呉へ～」と、10月に「呉湾グランプリ」の2つの事業をおこないました。観光事業者同士を繋ぎ、市民を巻き込み、

呉の海の魅力を市民含め広域の方に発信しました。難しいテーマだったが、委員会メンバーはじめ、他委員会、様々な方の協力を得て、何度も再考、試行錯誤しながらも悪天候の中でも集客にも成功し、成果を上げることができました。

続いて、瀬野委員長のV i v i d広報委員会は「成長を伝える広報」を実現する為に、「生の声」や「リアルな思い」を届けることにこだわり、呉青年会議所では初のポッドキャストというツールを使用し「呉」Cポッキャ!という番組を年間に渡り配信しました。初めての取り組みでうまくいかないこともあり苦労したが、こちらも多くの方に出演して頂き、トライ＆エラーを重ねるごとに改善していきながら等身大の呉青年会議所を発信することができました。

最後に、副理事長として両委員長に対して力になれたかはわかりませんが、私は、定森委員長、瀬野委員長なら必ずやりきってくれると信じ、そして見事やり遂げてくれました。卒業する最後の年に彼らと一緒に青年会議所活動をできたことを誇りに思います。そして、このような素晴らしい機会を与えてくれた三戸理事長、鋭い意見と若干の笑いでサポートしてくれた平岡専務、ラインを飛び越えスピーディーにいつも支えてくれた金子副理事長、苦手な部分を補ってくれた森事務局長に心から感謝しています。最高の仲間のおかげで失敗を恐れず挑戦することができ、団体としても個人としても成長できたと思います。

笑いあり涙ありであっという間に過ぎた学びの多い素敵な1年間でした。関わって頂きました全ての方に感謝申し上げます。特別な時間をありがとうございました。

専務理事 報告

専務理事
平岡 達也



あっという間に過ぎた1年でした。

専務理事、そして、総務委員会の担当も兼任したことにより、年初の新年互礼会に始まり、卒業式・納会・卒業送別会まで、多くの経験を積ませていただくことができました。素晴らしい経験も多くさせていただいた一方で、多くの後悔・反省もありますので、ここに記しておきたいと思います。

各事業の事業計画では、これまでにない新たな挑戦をすることを重視しました。

呉湾グランプリでは、飲食店を対象として新名物の提案、呉JＣポッキヤ!という耳に伝える広報、1泊2日の復活をさせたブロックアカデミー、呉市から飛び出して行ったサバイバルゲームを行った仮入会員セミナー、過去の議案と向き合う機会を作った例会など、全ての事業において、前例踏襲ではない新たな挑戦をすることができました。これは、金子・串山両副理事長を初め、全ての委員長が、新たな挑戦に真正面から取り組んでいただいた結果です。この場を借りて、皆さんに心より感謝いたします。他方で、呉のまちにこういった社会課題があり、事業を行うことでいかに解決するのかといったロジックの部分については、十分に詰め切れないところが多かったと反省しています。



事務局運営としても、次第、議案書フォーマットの見直しや、上程時のスプレッドシートの活用、議案書の提出日と配信日をずらすなど運営の効率化を目指した新たな試みを行いました。こちらの方は、変えることの難しさを実感させられました。変えることによって余計に非効率な面が生じたり、変更の意図が十分に伝わっていなかったりした場面が多くありました。会員減少や社業・家庭との両立が求められる中、事務局運営の効率化は避けられない課題です。これは私の力不足によるもので、多分にご迷惑をおかけしたことをご容赦ください。

私が入会した頃は、「手法じゃなくて目的を考えろ」ということを口酸っぱく言われていました。これは、「JＣが解決すべき課題が何なのか?」を先に吟味した上で、その課題を解決するための最適な手法を検討するという思考方法、J a y c e eとしての在り方を表した言葉だと理解しています。

2024年の自身の言動を改めて振り返り、そういった思考方法や在り方を伝える「人づくり」という観点が最も欠けていたのではないかとというのが最大の後悔です。

最後になりますが、寛容な心で最高の学びの機会を与えていただいた三戸理事長、事務局長の枠を超えて調整役まで買って出ていただいた森事務局長、怠惰な私とは違い上程作業や理事長のアテンドなどを隙なく行っていただいた小紫筆頭セクレタリー、うどん4玉を飲むように食べる笠岡セクレタリー、紅一点で上程作業を和ませてくれたダオセクレタリー、みんなで菅原セクレタリーのいるシンガポールに行きましょう!

あっという間に過ぎた夢のような1年をありがとうございました。

事務局長 報告

不動心

2024 事務局

事務局長
森 泰崇



いた事、学びを多く頂きました事感謝しております。

2024年度を以て私の青年会議所活動の最終年度となりました。2017年入会から今まで理事と言う経験がなく、どうやって運営して行くか分からぬままに一年があっという間に過ぎていった感じがしております。本年度は事務局長として呉青年会議所の事を内部から見る事ができた半面、事務局長としてのイメージが無いまま迎えてしまったことで、自分自身の失敗に気づかせて頂

2024年度を迎えるに当たり、平岡専務から「一度は理事を経験しておくべき」と言われ最終年度に押し上げて貰いました。こんな私ではありましたが、専務、セクレタリーの皆さん、事務局員の佐々木さんに、また色々な方に支えられながら、どうにか乗り切る事ができ、御礼申し上げます。

私自身、事務局長として予算面を見させていただいて、呉青年会議所には厳しい転換時期が来ていると分からされました。私の入会当初の様な先輩方がやってこられた事業感では難しい面があります。今後何かしらの対策や活動方針の転換を考えなければならない時が来ていると感じております。社会情勢や少子化等色々な外的要因がある中で、柔軟な対応が求められると思われれます。

今後活動されて行く会員の方には、JC活動で培った能力を十二分に発揮し、困難にも負けない新たな組織づくり、会員同士の結束も更に強め、呉青年会議所の運営を行って頂けるのを祈り致しております。

呉ファン創造 委員会

ONE PIECE

繋ぎ繋がり

委員長
定森 健次朗



スローガン

ONE PIECE ～繋ぎ繋がり～

「海で選ばれるまち呉」というミッションを与えられ、歩み始めたこの1年間。呉で頑張っている観光事業者を繋ぎ、発信したいと考えて活動してきました。調査を進める中で、呉は海のまちでありながら、海を活用した観光コンテンツがあまりにも少ないことに気づきました。

このため、事業1では、「呉みんなと祭～ようこそ呉へ～」と題しまして、海の玄関口である大和ミュージアム界隈で事前勉強会や現地



研修をおこない、まずは呉市の魅力ある海の観光コンテンツを観光事業者に知っていただき、観光事業者同士のつながりを深めていただきたと考えました。そして、多くの人が訪れる「呉みなと祭」と同日に開催することで、多くの観光客や市民の皆様、海の観光コンテンツを楽しんでいただき、呉市の港地区と商店街地区をつなぎ、観光コンテンツを活用した回遊促進にも挑戦しました。

また、事業2では、「呉湾グランプリ」と題しまして、呉の海の幸の魅力を、多くの皆様に知っていただきたと考え、海の幸を掘り起こし、観光客や市民の皆様、海の幸に味わっていただきました。大雨の中、想定を上回る多くの来場者にお越しいただき、参加された飲食店の出店者の皆様には、自ら作り上げた料理の魅力を、自らの手で発信するという成功体験をしていただくことができました。これにより、今後の観光振興への意欲を一層高めていただけたのではないかと思います。

結びに、私が委員長という大役を1年間務めることができたのは、常に支え続けてくれた安井副委員長、角幹事をはじめとする委員会メンバーの皆様、導いてくれた串山副理事長のおかげです。また、三戸理事長をはじめとする青年会議所のメンバー、特別委員会の先輩方、さらには事業に関わっていただいたすべての皆様に、心より感謝を申し上げます。

01 事業名：呉ファン創造事業 1（呉みんなと祭～ようこそ呉へ～）

＜呉みんなと祭 P r o j e c t＞

日時：2024年4月14日(日) 10:00～17:00

場所：大和ミュージアム4F 市民ギャラリー及び会議室・研修室、呉中央栈橋

＜呉みんなと祭＞

日時：2024年4月29日(月) 08:45～17:00

場所：大和ミュージアム界隈、呉中央栈橋及び呉みんなと祭ブース

外部協力者：呉市（産業部観光振興課、学芸課）、呉まつり協会、大和ミュージアム（大和ミュージアム・入船山記念館運営グループ）、shizune、Blue Project、有限会社バンカー・サプライ、くらはし観光ボランティアガイドの会、広島電鉄株式会社（広電バス）、公募した観光事業者（24団体32名）

**02 事業概要(方法)**

＜呉みんなと祭 P r o j e c t＞

呉みんなと祭の実施にあたり、公募した観光事業者に対し、事前勉強会や現地研修などをおこなった。この際、観光事業者が共通の目的を持つとともに、観光事業者同士の繋がりを深め、体験した内容をSNSなどで発信していただいた。

- ① 呉ファン創造委員会の年間事業計画、呉市の観光の現状、呉市観光・地域振興アプリ「マイクレ」（以下、マイクレとする。）などの事前勉強会をおこなった。
- ② 呉湾クルーズ（日本遺産を巡る旅）をおこなった。呉湾→音戸大橋→情島→亀ヶ首発射場跡（上陸見学1時間）→情島→音戸大橋→呉湾を周遊した。
- ③ グループを編成し、呉湾クルーズの感想、印象に残った他の団体の観光コンテンツなどについて話し合っていた。



＜呉みんなと祭＞

観光客や市民に対して、マルシェや呉湾クルーズなどの観光コンテンツ事業をおこない、その魅力をPRした。SNSやマイクレなどを活用し、事業の広報をおこなった。

- ① 呉みんなと祭メイン会場において、マルシェや縁日ブース、大道芸パフォーマンスをおこなった。
- ② 1日2便の呉湾クルーズ(日本遺産を巡る旅)を運航した。呉湾→音戸大橋→情島→亀ヶ首発射場跡(上陸見学1時間)→情島→音戸大橋→呉湾を周遊し、ガイドをおこなった。
- ③ 呉みなと祭会場にも縁日ブースを設置し、呉みんなと祭メイン会場の2拠点を周遊できるようにした。この際、ボンネットバスツアーとスタンプラリーをおこない、回遊性を向上させた。



03 検証方法と効果

① 検証方法

＜呉みんなと祭Project＞

・事業終了後、公募した観光事業者向けのアンケート(設問数2問、自由意見を除く)をおこない、事前勉強会などの成果や観光についての意見を確認した。

○ 観光事業者向けアンケート(回答率70.0%(30名中21名))

- (1) 事業に参加して新たな繋がりができたか: 100%(21名中21名)
- (2) 事業に参加して共通の目的ができたか : 85.7%(21名中18名)

＜呉みんなと祭＞

・事業終了後、来場者向けのアンケート(設問数5問、自由意見を除く)をおこない、呉みんなと祭の成果を確認した。また、呉青年会議所のマイクレアカウントの増加数を調べた。

○ 来場者向けアンケート(回答数12件)

- (1) どこからお越しか : 呉市内11名、広島県内1名
- (2) 事業は楽しかったか : 75.0%(12名中9名)
- (3) 呉湾クルーズは楽しかったか : 100%(2名中2名)
- (4) 呉みんなと祭メイン会場は楽しかったか: 100%(9名中9名)
- (5) 呉みなと祭ブースは楽しかったか : 100%(12名中12名)

○ 呉青年会議所のマイクレアカウント数: 197件

② 効果

<呉みんなと祭Project>

- ・観光事業者の意識改革、関係醸成、相互理解を進め、共通の目的を持つことで、観光事業者同士の繋がりが醸成できた。
- ・呉青年会議所の現役会員と観光事業者が、他の観光事業者が実施する呉市の観光コンテンツを知ることができた。
- ・観光事業者が、呉市の魅力的な観光コンテンツである呉湾クルーズを共に体験することで、観光客や市民に観光地について語る知識を深めることができた。



<呉みんなと祭>

- ・観光客が楽しめる事業をおこなうことで、当団体が観光振興に積極的に関わっていると市内外に示すことができた。また、観光客や市民に対して、直接的に観光事業者や観光コンテンツを発信することができた。
- ・大道芸のパフォーマンスやスーパーボールすくいなどの体験型アトラクションをおこなうことで、観光客や市民に楽しい時間を提供することができた。
- ・観光コンテンツである呉湾クルーズ(日本遺産を巡る旅)には97名、ボンネットバスツアーには約150名が参加し、その体験を発信してもらうことができた。
- ・マイクレの利用促進により、アプリを通じて観光客や市民と観光事業者の新たな接点を作ることができた。マイクレスタンプラリーには130名が参加し、31名が達成した。



01 事業名：4月担当例会

日時：2024年4月1日(月) 19:50～20:50

場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間(ZOOM配信有)

02 事業概要(方法)

当委員会の基本方針、スローガン、年間事業計画、呉ファン創造事業1などの内容を周知するためのプレゼンテーションを下記の通りおこなった。

- ①当委員会の基本方針、スローガン、年間事業計画を、Power Point(以下、PPとする。)で説明した。
- ②観光客と呉市民の掛け合いによる寸劇をおこなった。
- ③呉ファン創造事業1において、具体的に実施する活動内容を、PPで説明した。
- ④委員会単位を基準として現役会員に、呉ファン創造事業1の参加をPPで依頼した。
- ⑤委員長及び担当副理事長より、年間の事業及び呉ファン創造事業1の協力を依頼した。



03 検証方法と効果

①検証方法

例会に関して、委員会向けのアンケート(設問数3問、自由意見を除く)と現役会員向けクイズ(設問数3問)をおこない、当委員会の基本方針、呉ファン創造事業1の内容などが周知できたかを確認した。

○委員会向けアンケート(回答率100%)

- (1)基本方針と事業計画の理解度 : 90.5%(42名中38名)
- (2)事業1の理解度・共感度 : 92.9%(42名中39名)
- (3)事業1の参加意欲 : 90.5%(42名中38名)

○現役会員向けクイズ(回答率100%)

- (1)呉市の観光の問題点の正答率 : 90.5%(42名中38名)
- (2)事業の事前勉強会の目的の正答率: 57.1%(42名中24名)
- (3)事業のPR内容の正答率 : 100%(42名中42名)

②効果

- ・現役会員に、基本方針、呉ファン創造事業1の内容を理解していただいた。特に、観光事業者をつなげることで、呉市の観光をよりよくしていくという方針を十分伝えることができた。
- ・観光に対する呉市民の現状認識を説明し、現役会員に観光の必要性を理解してもらうことができた。一方で、自らまちづくりの事業をおこなうことが主である呉青年会議所にとって、観光事業者を主体とした事業をおこなうことは、なかなか理解を得ることが難しかった。
- ・多くの現役会員に、呉ファン創造事業1の活動内容を理解していただいたが、事前の準備が不十分だったため、委員会が考える細かな意図を伝えきることができなかった。



01 事業名：8月担当例会

日時：2024年8月5日(月) 19:50～20:50
 場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間(ZOOM配信有)

02 事業概要(方法)

当委員会がおこなった呉ファン創造事業1の成果、呉湾グルメクイズ、呉ファン創造事業2に向けた課題の共有などを周知するためのプレゼンテーションを下記の通りおこなった。

- ①当委員会がおこなった呉ファン創造事業1の成果をP Pで説明した。
- ②ステージにおいて、呉湾グルメクイズをおこない、呉の食に関わる現状を、P P等で説明した。
- ③呉ファン創造事業2に向けた課題の共有を、P Pで説明した。
- ④委員長及び担当副理事長より、呉ファン創造事業2に向けての協力依頼をおこなった。



03 検証方法と効果

①検証方法

例会に関して、委員会向けのアンケート（設問数 3 問、自由意見を除く）と現役会員向けクイズ（設問数 3 問）をおこない、当委員会の基本方針、呉ファン創造事業 1 の内容などが周知できたかを確認した。

○委員会向けアンケート（回答率 100%）

- （1）基本方針と事業計画の理解度 : 90.5%（42名中38名）
- （2）事業1の理解度・共感度 : 92.9%（42名中39名）
- （3）事業1の参加意欲 : 90.5%（42名中38名）

○現役会員向けクイズ（回答率 100%）

- （1）呉市の観光の問題点の正答率 : 90.5%（42名中38名）
- （2）事業の事前勉強会の目的の正答率: 57.1%（42名中24名）
- （3）事業のPR内容の正答率 : 100%（42名中42名）

②効果

- ・現役会員に、基本方針、呉ファン創造事業 1 の内容を理解していただいた。特に、観光事業者をつなげることで、呉市の観光をよりよくしていくという方針を十分伝えることができた。
- ・観光に対する呉市民の現状認識を説明し、現役会員に観光の必要性を理解してもらうことができた。一方で、自らまちづくりの事業をおこなうことが主である呉青年会議所にとって、観光事業者を主体とした事業をおこなうことは、なかなか理解を得ることが難しかった。
- ・多くの現役会員に、呉ファン創造事業 1 の活動内容を理解していただいたが、事前の準備が不十分だったため、委員会が考える細かな意図を伝えきることができなかった。



01 事業名：呉ファン創造事業2（呉湾グランプリ）**<事前説明会>**

日時：2024年9月17日(火) 13:00～17:10

場所：ビュー・ポートくれ 3階 中会議室

<呉湾グランプリ>

日時：2024年10月19日(土) 11:00～15:00

場所：れんが通り

外部協力者：呉市（産業部観光振興課）、おだしずえ氏、(株) A i b i n うめ氏、(株)総合センター 鷹林 勲氏、公募した飲食店出店者（15店舗）及びステージ出演者（5団体）

**02 事業概要(方法)****<事前説明会>**

公募した飲食店の出店者（以下、出店者とする。）及びステージ出演者（以下、出演者とする。）に対して、事前説明会を実施した。

- ① 出店者向けに、本事業の趣旨と実施要領を説明し、事前にインフルエンサー「うめ」氏による「飲食店向けのSNSの発信方法」の講演会をおこなった。
- ② 出演者向けに、本事業の趣旨と実施要領を説明した。
- ③ 出展者及び出演者との懇親会を実施した。



＜呉湾グランプリ＞

呉の海の幸を使った「呉湾グランプリ」を、呉の飲食店15店舗、ステージ出演者5団体とともに、れんが通りのクレアル前で開催した。また、Instagramの投稿方法に関する講演をおこない、参加関係者および来場者全員が呉の海の幸の魅力を発信した。

- ① 出店する15店舗に、呉の海の幸を主食材とした料理を事前に考案していただき、その料理を呉湾グランプリに向けて広報をしていただいた。
- ② 合計15品の料理から来場者の投票により、呉湾グランプリを決定した。
 - ・がんす老舗本店 三宅水産（漁師の浜干し安芸灘ひじきのすり〜みいコロッケ）
- ③ 理事長および各審査委員が料理を選び、審査委員賞を決定した。
 - ・理事長賞：柑橘酒家 檸檬（サクサクじゃこオイルのレモンまぜそば）
 - ・うめグルメ賞：田舎洋食いせ屋（呉産の米衣を使用した呉産牡蠣のコンフィフライ）
 - ・コワモテ料理長賞：居酒屋利根本店（美浄生牡蠣の利根風ソテー）
- ④ ステージ出演者は公募し、キッズダンスや和太鼓演舞をおこなった。また、出店者の料理紹介をおこなった。
- ⑤ インフルエンサー『うめ』（広島グルメ・広島観光）氏による、「映え写真動画撮り方講座」という題目で、市民観光客向けのInstagramの情報発信に関する講演をおこなった。



03 検証方法と効果

① 検証方法

・事業終了後、公募した出店者向けアンケート（設問数2問、自由意見を除く）をおこない、事業の成果や観光についての意見を確認した。また、来場者向けのアンケート（設問数5問、自由意見を除く）をおこなった。さらに、SNSの情報発信数を調べた。

○ 出店者向けアンケート（回答率100.0%（15件中15件））

（1）事業に参加して新たな繋がりができたか：66.7%（15件中10件）

（2）考案した料理の手ごたえはどうでしたか：100%（15件中15件）

○ 来場者向けアンケート（回答数24件）

（1）どこからお越しか：呉市内17名、広島県内5名、県外2名

（2）事業をどこでしたか：紹介9名、SNS12名、紙媒体3名

（3）事業は楽しかったか：95.8%（24名中23名）

（4）呉湾グランプリをSNSで発信したか：62.5%（24名中15名）

（5）これからも食べたい料理はあったか：100%（24名中24名）

○ 呉湾グランプリ投稿数

（1）Instagram：74件

（2）X（旧Twitter）：154件（7,366いいね）

（3）Facebook：55件（1,666いいね）

② 効果

<事前説明会>

- ・事前説明会を通じて、呉湾グランプリをなぜ実施するかなどの想いを出店者やステージ出演者に伝えることができた。
- ・インフルエンサー『うめ』（広島グルメ・広島観光）氏による、講演を通じて、出店者がSNSの発信方法について学ぶ機会を提供できた。
- ・事前勉強会や懇親会を通じて、出店者同士の繋がりを作ることができた。

<呉湾グランプリ>

- ・海の幸の食材を出店者が計画するにあたり、漁業関係者や魚屋などの新たな繋がりを生むことができた。
- ・出店者に、呉の海の幸の食材を使った料理のメニューを開発していただくことで、地元産海産物の豊富さを理解していただくことができた。
- ・事業をおこなうことで、呉の海の幸の情報をSNSなどで広く発信することができた。また、新メニューの発信を行うことで、報発信の重要性も理解していただくことができた。



ざ・ブロック アカデミー 実行委員会

あずってこそ成長

委員長
大本 哲大



スローガン

あずってこそ成長

広島ブロックアカデミーという事業の実行委員長を仰せつかることになり、実に10年ぶりとなる呉開催ということでプレッシャーを感じておりました。

10年前の実行委員長に話を聞きに行くなど様々な方からお話を聞き各ロムいろんな色の事業をされているのだなと感じました。しかし本質はすべて同じでブロックの垣根を超え関係の醸成をしていくことが大事なのだと思います。渡邊出向委員長と何度も打ち

合わせをし、何度も委員会メンバーとでプレを実施したのはこの先忘れることはない思い出となりました。事業実施後に各ロムの理事長から「さすが呉さん」とお褒めのお言葉をいただき理事長からのミッションを達成できたように感じます。



9月担当例会では異業種交流会を行いました。

呉のことだけではなく青年会議所のことも知っていただきたく堀口先輩を講師にお招きし交流会を行った。様々な業種の方総勢60名を動員しました。呉のこと知りそして青年会議所での経験を知ってもらう機会を提供することで新たな入会者の一助になれたのではないかと思います。

最後に私が一年間委員長を務めることができたのはいろいろなアドバイスや相談に乗ってくれた先輩そして支えてくれたスタッフ、委員会メンバーのおかげです。

事業をやりきれたのもメンバー全員が協力してくれたのおかげです。

なにをやるにしても私一人では成し遂げることはできなかったと思います。

この場をお借りして感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。

01 事業名：5月担当例会

日時：2024年5月7日(火) 19:50～20:50

場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間 ZOOM配信

02 事業概要(方法)

6月に実施するブロックアカデミーの協力要請を行った

- ①動画を用いてブロックアカデミー事業のイメージを上映した。
- ②ブロックアカデミーとは何をする場で何を学ぶものか趣旨及び目的をP Pを使用して発表した。
- ③当日の内容、スケジュールをP Pを使用して発表した。
- ④事業当日に実施予定の段ボール船を各委員会で制作し体験してもらった。
- ⑤当日のメンバーの役割の説明をP Pを使用して発表した。
- ⑥先輩方の体験談をインタビューした動画を上映した。
- ⑦委員長挨拶を行った。
- ⑧副理事長謝辞を行った。



03 検証方法と効果

1) 検証方法

例会に参加したメンバーからクイズ形式のアンケートを行った。
クイズを4問出題しました。

1問目の正解率 13.6パーセント。

2問目の正解率 79.5パーセント。

3問目の正解率 76.2パーセント

4問目の正解率 27.9パーセント

平均 49.3パーセント

2) 効果

- 動画を上映することで事業のイメージさせることができた
- 実際に船を造ることで当日のイメージを促せた。
- 参加者を増やすことができた。
- クイズを難しくすぎたが難題にも正解者がいたことからしっかりと例会を聞いていただき理解できているのだと感じました。



01 事業名：公益社団法人日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会 2024年度 広島ブロックアカデミーin呉

日時：2024年6月15日(土)・16日(日)

場所：広島県立 県民の浜

02 事業概要(方法)

アカデミー生が主体性をもつ活動を体験しJCの基礎となる知識や理念を学びリーダーとしての資質を得ることで各LOMに戻りJC活動に意欲的に取り組むことができるようになり本事業を通じ広島ブロック協議会の各LOMのメンバーが垣根を越えた継続する交流関係を持つてもらうために事業を実施した。

①体験プログラム及び懇親会

- ・「私たちの大和を造ろう」と題し、本来は水に沈んでしまう段ボールを素材として、チームごとにテーマについて考え船を製作した。またカッター訓練を実施しチームとして一体感を生み出した。そして実際に制作した船に乗船しレースを行った。
- ・夜の懇親会では呉ならではの食材・料理を提供し懇親を図った。



②セミナー

日本青年会議所が「JAYCEE 育成カリキュラム」についてブロックアカデミー必須項目として掲げている「JCI 日本公認プログラムPURPOSE」を中心に学び、青年会議所とは何かという理解を深め、会員としての資質を高める機会を提供した。



03 検証方法と効果

・段ボール船製作について

図面のない真っ白なところから参加者が意見を出し合い構想、製作をすることで自然と会話が生まれ協力し合い製作することで関係構築の一助となった。

また段ボール船作成中にカッター訓練も取り入れることで頭を動かすだけでなく体を動かすことで飽きが生まれず、参加者に楽しんでもらえた。



・段ボール船レースについて

参加者が自らプールに入っていくなど体を張る姿をみて事業に本気で取り組んでいる様子が感じられた。またレースごとにプール内の清掃を意識させることで片付けの早期終了に繋がった。



・懇親会について

手作り感満載の懇親会会場の設営でスタッフメンバーの素晴らしさを再認識することができた。
親会料理を元々輝きの館「あび」での全提供での予定でしたがより呉らしさを出すためにもさまざまなところから提供してもらうことでより呉らしさを演出することができた。



・セミナーについて

前日にセミナーの会場を準備するところまで行うことで、2日目の朝に滞りなく開催することができた。また朝食を配布形式にしたことで、セミナー開始時に遅刻者を出さなかった。呉メンバーが講師を務めることで、改めてJCのことを学ぶことができた。



01 事業名：9月担当例会

日時：2024年9月8日(日) 13:30～16:45

場所：ビューポートくれ3階大ホール

外部協力者：呉青年会議所特別会員

堀口海運株式会社 代表取締役 堀口 悟史 先輩

02 事業概要(方法)

①講演会

- ・一般参加者と会員及び仮入会員に対し、呉JＣの特別会員である堀口悟史先輩をお招きし、当団体で得た経験がどのように自己成長に繋がり、現在、取り組んでいる仕事やプロジェクト、日常ご自身の活動について講演を実施した。
- ・講演テーマは「呉の祭礼文化「ヤブ」～12年のフィールド調査とその発端～」とした。
- ・一般参加者には受付後、記念品をお渡しした。
- ・一般参加者に対しアンケートを行った。



②交流会

- ・名刺交換を楽しみながらより多くの方々と交流してもらえよう考えた為、封筒に5枚の名前カードを入れカードに記載の方と同一の名刺を揃えていただくゲームを実施した。
- ・名刺5枚を早く揃えた上位5名に景品をお渡しした。



03 検証方法と効果

1) 一般参加者とロムメンバーからアンケートを取得した。

一般参加者アンケート

・講演をきき、当団体の活動内容を知ることができましたか？

はいと回答された方 52 名中 49 名 (96 パーセント)

ロムメンバーアンケート

・今回の異業種交流会で一般的に当団体の活動内容に興味を持ってもらえたと思いますか？

はいと回答された方 30 名中 28 名 (96 パーセント)

2) 効果

アンケート結果から講演を通じて青年会議所の活動内容を理解し、興味を持ったと回答している為、事業目的である「青年会議所の活動を周知し、興味を持ってもらう」という目標は、概ね達成できたと考える。また、現役メンバーからも同様に「興味を持ってもらえた」と回答しており、メンバーの認識も高いことが確認できた。さらに、堀口先輩の講演により、多くの一般参加者が「やぶ」の文化に関心を持ち、特に堀口先輩の当団体で学んだ事業構築や探求心、行動力は現在も継続されていることが良く伝わり、一般参加者が当団体の活動へ対し、関心を高め、興味を持ってもらうことができたと感じている。



湧漑！ 拡大アカデミー 委員会

本気で
拡大

委員長
石原 トミー



スローガン

未だ見ぬ仲間に逢いに行く！

私の委員長のスタートは涙を流すところから始まった。会員拡大とは簡単に言えば会員を増やすことが出来れば成功。それだけの事ではあるが私に出来るのか凄くプレッシャーを感じていたのを今になって思い出す。拡大では、とにかく多くの方に会いに行き話を聞いてもらうことに全力を注いだ。面談では一方的にならず、相手の気持ちを考え、メリットだけを伝えるのではなく、入会する事での負担や不安に感じる点に耳を傾け、対話をする事で18名の方が仮入会をしてくれた。



仮入会員期間では、呉青年会議所の活動を体験してもらいたく、入会候補者面接、2回のセミナー、仮入会員会議をかさね仮想事業の構築、10月担当例会を実施した。委員長として仮入会員の方に、入会して良かった、仮入会員だけでも体験して良かったと思ってほしいと心がけ寄り添い行動をした。仮入会員の方達には過酷なスケジュールの時もあったとは思う。それでも10月までやりきり、最後の発表を目にしたときは心にくるものがあり涙をうかべた。半年間頑張ってくれた仮入会員の方達には感謝の念につきる。と同時に、石原委員長のもとで仮入会員をする事ができて良かったと言ってもらえた時は、委員長としての頑張りが報われた。

最後に、寄り添い続けてくださった金子副理事長、不甲斐ない委員長を支え続けてくれた副委員長と幹事、壁にぶつかるたび助けてくださった全会員の皆様、そして苦しくても頑張り取り組んでくれた可愛い仮入会員・新入会員の皆様には感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。最高な1年でした。

01 事業名: 2024年度会員拡大方針

日時: 拡大活動 2023年12月1日から2024年11月30日
アカデミー活動 2024年3月31日から2024年10月7日

02 事業概要(方法)

- ・入会候補者リストの整理、情報収集をおこなった。
- ・メンバー全員が参加する会員拡大専用グループLINEを作成し、情報収集、情報共有をおこなった。
- ・入会年度の近い人でグループを作り拡大活動をおこなった。
- ・アカデミー期間に、仮入会員会議、セミナーⅠ、セミナーⅡ、10月担当例会をおこなった

03 検証方法と効果

○検証方法

全メンバーへ連絡し拡大活動への巻き込み、グループLINEでのメンバーへの協力と要請をおこなった。

○効果

- ・グループLINEやメンバー全員から候補者情報を収集する場を設けたことで、多くの仮入会員候補者情報を得ることができた。
- ・入会年度が近い人でグループを作り拡大活動をおこなったことで、相乗効果が生まれ仮入会員を獲得する事ができた。
- ・アカデミー期間に仮入会員会議、セミナーⅠ、セミナーⅡなどをアカデミー期間に実施したことで、仮入会員同士、仮入会員と現役会員の関係構築ができた。
- ・アカデミー期間を体験してもらったことで、呉青年会議所への理解、共感を得ることができた。



Junior Chamber International KURE
公益社団法人 呉青年会議所

入会のご案内

青年会議所について

20歳から40歳までの志の高い青年経済人によって「奉仕」「修練」「友情」の三信条のもと、「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年団体です。世界では119の国と地域、約145,000人、日本でも678の地域に各地青年会議所があり、約30,000人が活動しています。
2023年8月1日現在

呉青年会議所について

公益社団法人呉青年会議所は、日本の青年会議所の1つとして、全国で39番目、広島県内では一般社団法人広島青年会議所に次ぐ2番目となる1952年に創立されました。

名 称	公益社団法人 呉青年会議所	創 立	1952年11月1日	【呉青年会議所HP】
事務局	〒737-0045 広島県呉市本通4丁目8番12号 呉商工会議所ビル南館7階704 TEL・FAX: 0823-21-0801 MAIL: info@kure-jc.or.jp / URL: https://kure-jc.or.jp			



呉青年会議所では新規会員を募集しています。

青年会議所活動の基本の1つには、
地域の産業を担う青年経済人が、
人的ネットワークを広げ、各種事業を通じて切磋琢磨し、
力強いリーダーシップを発揮できる“人材”を“開発”する
ことにあります。




一人でも多くの高い志を持った仲間に出会いたい、
との一念で、会員拡大活動に取り組んでいます。

よくあるご質問

具体的にどんな活動をするの？

会員やまちづくりのための事業の発案、企画や実行、地域のイベントのお手伝いを行います。過去の活動内容についてはホームページ内でも紹介しています。




どれくらいの頻度で集まるの？

毎月第1月曜日に開かれる例会と、月に1～数回開かれる委員会、呉青年会議所で取り組むまちづくりの事業に参加します。年数を重ね、役職に就けば、活動の幅は広がっていきます。

どんな人が入会できるの？

呉市および近郊に居住または勤務している満20歳から満40歳までの青年であれば、国籍、性別、職業は問いません。満40歳の事業年度終了時に卒業になります。

自身のスキルアップ

事業の企画、実行にあたり、これまでにない経験をするにより、ビジネススキルやコミュニケーション能力を向上させることができます。JC活動をきっかけに新規事業を立ち上げたメンバーもいます。

地域社会への貢献

個人や営利目的の組織ではない、非営利な活動を行なうことで、呉のまちをよりよく知り、まちづくりに貢献できます。

新たな人脈と真の友情の獲得

JC活動を通じて、呉青年会議所の会員や卒業生のみならず、他地域の青年会議所会員とも知り合い、人脈は飛躍的に広がります。また、同じような価値観を持つ仲間と活動を共にすることで、他では得られない信頼関係と真の友情をはぐくむことができます。

忙しくて時間が無いんだけど

社会人にとって時間のマネジメントは最も難しい課題の一つです。仕事をしながらJC活動を行なうことにより、集中した時間の使い方、仕事の分担方法などを、多くのメンバーから学ぶことができます。

入会を迷っているあなたへ

明るい話題だけではなく呉のまちに必要なとされているのは、私達若い世代の活力です。JC活動を通じて、個人の資質を向上させ、人脈を広げ、企業や地域に還元することで、より良い世の中が実現されます。その他にもJCには、あなたの夢を実現させるための様々なチャンスとアイデアを得られる機会がたくさん用意されています。地域やあなたの周りの大切な人、そして何よりもあなた自身のために、呉青年会議所で私たちと一緒に活動しましょう。

入会についての問い合わせ窓口

2024年度拡大アカデミー委員長（予定者）
石原トミー（イシハラ トミー）TEL:080-6920-3315



Junior Chamber International KURE
公益社団法人 呉青年会議所

01 事業名: 2月担当例会

日時: 2024年 2月5日(月) 19:50~20:50
クレイトンベイホテル3階 天の間

02 事業概要(方法)

・委員会の基本方針、年間事業計画の周知、拡大活動をメンバー全員でおこなう為に

意識を高める例会をおこなった。

- ①. 拡大方針の説明について、当委員会で作成した動画を上映した。
- ②. 会員拡大の必要性について及び基本方針についてプレゼンテーションや寸劇をおこなった。
- ③. 年間事業計画についてプレゼンテーションをおこなった。
- ④. 拡大の進捗状況、各拡大グループの進捗状況報告についてプレゼンテーションをおこなった。
- ⑤. 緊急拡大会議の説明について、当委員会で作成した動画を上映した。
- ⑥. 緊急拡大会議と称し、各拡大グループに分かれていただき、候補者のリストアップをしていただいた。ZOOM参加の方は、LINE通話で繋ぎ緊急拡大会議に参加していただき、情報を出していただいた。緊急拡大会議中、広島ブロック協議会の方々には、各LOMでどのように拡大をおこなっているかアンケートにご協力いただいた。
- ⑦. 石原委員長による挨拶をおこなった。
- ⑧. 金子副理事長による挨拶をおこなった。

03 検証方法と効果

・例会出席者に例会での内容を問題としたクイズ形式のWEBアンケートを実施した。

- ①. 今年度に入り現在まで何名の候補者情報があつたでしょうか。 正解率14%
- ②. 石原委員長は現在まで何名の方と面談をおこない、何名の方が入会してくれているでしょうか。 正解率42%
- ③. 仮入会員期間が終わった時、仮入会員してくれた人達にどのように思っほしいと言っていましたか。 正解率20%

○効果

- ・現役会員全員に拡大の必要性を理解していただくことができた。
- ・拡大が委員会メンバーだけでなく、メンバー全員でやるという意識を伝えることができた。
- ・言葉だけでなく、映像、寸劇を入れることで、飽きさせることなく例会が進行できた。
- ・各拡大グループの進捗状況を伝えたことで、危機感を感じてもらい、拡大に繋がることができた。
- ・拡大会議を行ったことにより、15分と短い時間で、97名の情報を得ることができた。



01 事業名:入会候補者面接

日時: 1回目 2024年 3月16日(土) 19:00~20:17
クレイトンベイホテル3階 花の間
2日目 2024年 3月19日(火) 19:00~20:17
クレイトンベイホテル3階 花の間
3回目 2024年 4月 1日(月) 18:00~18:30
クレイトンベイホテル2階 ラピスの間

02 事業概要(方法)

- ・入会候補者面接を行った。
- ①. 会場内の現役メンバーは厳肅な雰囲気を作った。
- ②. 次第、候補者氏名、写真等は、プロジェクターを使い投影する。審査委員には入会候補者の情報(入会申込書を元に作成)を紙面にて配布した。
- ③. 候補者は3分間スピーチを行った。
- ④. スピーチテーマは「人と接する際に大事にしていること」、「自分の人生をあらわす漢字2文字」「過去の失敗を活かして成功した経験」とし、候補者には推進時や声掛けの時から入会候補者面接時にスピーチがあることや、テーマや時間制限があることを伝えた。入会候補者に事前にテーマを1つ選んでもらい、3分間スピーチを行った。
- ⑤. 各候補者のスピーチ終了後には質疑応答の時間を設け、候補者毎に1名の質問者をランダムに選定する。質問時、審査員は全員挙手をした。
- ⑥. 3月16日(土)、3月19日(火)、4月1日(月)の3回で実施した。入会候補者が両日とも参加ができない状況が発生したときには、臨時で入会候補者面接を行った。



03 検証方法と効果

○検証方法と効果

- ・面接時の現役会員の数を数えた。
 - ・審査委員会を設置し入会候補者の入会を承認した。
- | | | |
|------------|----------|----------|
| 第1回入会候補者面接 | 現役会員 26名 | 入会候補者 6名 |
| 第2回入会候補者面接 | 現役会員 24名 | 入会候補者 8名 |
| 臨時入会候補者面接 | 現役会員 10名 | 入会候補者 4名 |

○効果

- ・入会候補者が緊張感を持って面接に臨むことが出来た。
- ・審査員と面接に参加した現役に入会候補者の情報を伝えることが出来た。
- ・3分という縛りを設けることで、入会候補者にスピーチの組み立て、伝え方を学んでもらえた。
- ・テーマを設けることで、入会候補者が品位のある青年が審査することが出来た。
- ・質問者はランダムで決め、審査員全員に挙手をしてもらうことで、毎回真剣に話を聞き入会後者に興味がありますという意思表示が出来た。
- ・2日の面接日、1日の臨時面接日を設けたことで、入会候補者全員の面接を行うことができた。



01 事業名:仮入会員セミナー I

日時:2024年4月21日(日)13時00分から20時30分まで
 呉中央小学校体育館(13:00~17:00)
 ビューポート呉 3階大ホール(18:30~20:45)

02 事業概要(方法)

・仮入会員に青年会議所の基礎知識の習得させるまた仮入会員の関係の構築の為セミナー1を実施した。
 青年会議所の基礎知識について学んでもらい青年会議所でこれから活動する自身の姿をイメージしてもらえよう、座学をおこなった。基礎知識のみでなくよりイメージしてもらえよう、前年度入会した1年目会員に青年会議所に入会し変わったこと、1年目の役職についての体験を語ってもらった。
 また、入会間もない仮入会員同士の関係構築のため、仮入会員VS現役会員という形で、体力系プログラムをおこなった。
 体力プログラム後は、仮入会員期間中におこなってもらふ仮想事業事業構築の為の第1回仮入会員会議をおこない呉のまちの問題点・課題を自身達で考えてもらった。
 セミナーの最後には懇親会をおこない、関係構築することができた。



03 検証方法と効果

・仮入会員向けアンケートを実施した。

①. 座学では青年会議所について理解を深める事ができましたか。

できた 90% 少しできた 10% できなかった 0%

②. 同期の顔と名前が一致しますか。

全員一致する 20% 10人は一致する 70% あまり一致しない 10%

③. 同期とは仲良くなれましたか。

なれた 80% あまりなれなかった 20%

○効果

①. 座学とアイスブレイク

- ・個々にニックネームをつけそのニックネームで呼び合うことで顔と名前を覚えることができ親近感が沸いた。
- ・座学を行ったことで青年会議所がどういう団体であるか、呉青年会議所がどのように活動しているのか理解してもらう事ができた。
- ・幹事の対談を行ったことで、自身の具体的に成長する姿を想像してもらう事ができた。

②. 体力系プログラム

- ・共通の目標(現役に勝つ)を掲げさせることで、同期との連帯感が育成でき、仮入会員同士の関係の構築ができた。
- ・縛り(ルール)をつけたことで、同期の絆を深める事ができた。

③. 仮入会員会議

- ・第1回仮入会員会議を行ったことで、10月までに自分たちがやる事をイメージしてもらう事ができ、10月例会という目標に向けて、同期の関係をより結束することができた。

④. 懇親会

- ・第1回仮入会員会議の発表をしてもらうことで、仮入会員全員で発表内容を考え、意見を出し合い内容を作成し、関係の構築ができた。
- ・改めて自己紹介することで顔と名前を覚えてもらうことができた。
- ・仮入会員のみの席にしたことで、お互いに感謝や共感の感情が生まれ、関係の構築ができた。
- ・仮入会員の席に現役が回ったことで、懇親会の雰囲気も良くなり、自分たちが入った団体にはどんな人がいるのか、どんな雰囲気で接し合っているのか知ってもらうことができた。



01 事業名:仮入会員セミナーⅡ

日時:2024年8月25日(日)10時00分から20時30分まで
 セミナーⅡプログラム
 CQBDELTA(10:00~15:30)
 懇親会
 しんや(18:30~20:45)

02 事業概要(方法)

・仮入会員と現役会員の関係構築の為、セミナーⅡを実施した。
 現役会員と仮入会員の関係構築ができるよう、現役会員と仮入会員混合のチームを作り事業当日までに、Tシャツを作り、当日の乗り合いの打ち合わせをおこなってもらった。当日の道中では小谷SAをチェックポイントとし、チーム写真の撮影とミッションを設けた。
 CQBDELTAでは、事前に作成したTシャツを着用してもらい、独自ルールを設けたサバイバルゲームをおこなった。
 懇親会では仮入会員会が多くの現役会員と交流できるよう、時間を決め席を移動しながらの懇親会にした。1日を通して、仮入会員と現役会委の関係構築をすることができた。



03 検証方法と効果

・現役会員、仮入会員にアンケートを実施した。

①. チーム内でよく話をする事ができましたか。

できた 100% できなかった 0%

②. 現役・仮入会員と積極的に話をする事ができましたか。

できた 100% できなかった 0%

○効果

①. Tシャツ作成・現地までの乗り合いについて

チームTシャツとセミナーⅡだけの特別な呼び名を決める事で、親近感がわき、より親密な関係の構築ができた。少人数で長い時間を共にする事で、交流の密度が上がり関係が構築された。

②. チェックポイントの撮影・ミッションについて

自分達のオリジナルのTシャツを着用し撮影したことで、チームワークを高めることが出来た。

③. サバイバルゲームについて

非日常体験を共にする事で、一体感が増し、記憶に残る1日となった。

また、必然的に、会話、アイコンタクトなど多くのコミュニケーションが必要とされるサバイバルゲームを行う事で、多くのコミュニケーションを取ることができ、仮入会員と現役の関係構築が促進できた。

④. 懇親会について

関係の構築ができた状態で、共に食事をしながらざっくばらんに語り合う事で人間性が伝わり関係の構築がより強固になった。当日のMVPとそれに纏わるエピソードを発表することで、より思い出に残り関係の構築の一助となった。30分毎に席を入れ替えることでグループ以外の現役の方とも仮入会員が関係を構築するきっかけとなった。会員名鑑を作ることで、その人の事を知り、共通点や話の話題が見つかり、関係構築の一助となった。



01 事業名: 10月担当例会

日時: 2024年10月 7日(月) 19:50~20:50
クレイトンベイホテル3階 天の間

02 事業概要(方法)

現役会員に仮入会員の絆、人間性を周知し新しい仲間として迎えてもらう事を目的に例会をおこなった。

- ・新入会員による仮想事業のプレゼンテーションをおこなった。
- ・バッジ授与式をおこなった。
- ・新入会員の代表者より決意表明をおこなった。
- ・担当委員長挨拶をおこなった。
- ・担当副理事長挨拶をおこなった。

03 検証方法と効果

○検証方法と効果

- ・会員全員にアンケートを実施した。

①. 新入会員は何名入会しましたか。

9名回答 100%

②. 新入会員の仲の良さを感じましたか。

感じた 100%

③. 仮想事業は理解出来ましたか。

できた 93% できなかった 7%

○効果

- ・新入会員の築き上げてきた関係性と人間性を現役会員に周知する事ができ、共に活動する仲間として受け入れることができた。
- ・厳肅な雰囲気でもバッジ授与式をおこない、新入会員だけでなく現役会員ともに気を引き締め、新たな仲間として迎え入れてもらう体制ができた。





- ・現役会員の前で、決意表明をおこなう事で、正会員としての自覚を持たせ、現役会員には後輩として迎え入れてもらう体制ができた。
- ・委員長挨拶をおこなう事で、新入会員、現役会員へ向けて当日までの活動と協力に対する感謝を述べ、今後の拡大活動への一助とすることができた。
- ・副理事長挨拶をおこなう事で、新入会員、現役会員ともに例会を振り返り、今後のより良い活動への一助とすることができた。



Vivid 広報委員会

点を繋ぐ

委員長
瀬野 浩一



スローガン

Connecting the dots

委員長の話をいただいた時、1年間を良いものにしたい。そして自分の委員会に配属されたメンバーが1年終わった時に、この委員会に居て良かった、そう思って欲しいと率直に思った。活動内容はこれまでにない広報活動として、声で届けるPodcast「呉」Cポッキヤ!」、くれえばんにコラム「ビビッと!通信」の掲載をはじめ、SNSやホームページの更新を行った。従来の広報活動に加え、週に1回の呉」Cポッキヤ!の収録と配信、月に1回のくれえばんの取材は正直とてもつらかった。常に締め切りに追われ、まるで売れっ子作家になったかの様な1年だった。



我々は日々の活動の中で点を打ち続けている。将来振り返った時にそれらの点が線で繋がることで「自分は成長出来た」と感じる。現役メンバーがこれまでの活動の中でどんな点を打ってきたのかを実際に本人に話してもらうことで、生々しい体験を伝え、Podcastを聞いてくれた人の心に響いて欲しいと思っていた。そして記事ではなく音声として届けることで、臨場感とテンションをダイレクトに伝えられた。テーマ作りに苦労したり、スケジュールの調整がなかなか上手くいかず、挫折しそうになったことも何度もあったが、聞いた方から「あの回面白かったよ!」と声をかけていただいたり、他LOMの方から「素晴らしい活動だね!」と声をかけていただくことがあり、とても誇らしく、その言葉のお陰でやり切ることが出来たと確信している。

私自身、この1年間は非常に充実した濃い1年間だった。自分の我儘を聞いてくれ、力を貸してくれた副委員長、幹事をはじめとした委員会メンバー。心の支えとなってくれた串山副理事長。そして一緒に一度しかない委員長という体験を素晴らしいものにすることが出来たのは現役メンバーのみなさんのお陰である。

本当にありがとうございました。

1年間という委員長生活の終了ボタンを押そうと思います。
私に関わってくれたみなさんの点になれたことを信じて。

01 事業名:事業名:事業計画書・会員手帳作成事業

日時:2024年1月1日～2024年1月5日

場所:適宜選定する。

02 事業概要(方法)

事業計画書及び会員手帳を作成し、郵送もしくは手交にて配布した。

03 検証方法と効果

○検証方法と効果

年間事業報告書について、郵送と手交により配布した。

会員手帳について、使い勝手に関してのヒヤリングを行った。

○効果

ヒヤリングの結果下記の意見をいただいた。

自宅住所の削除について、否定的な意見はなく、消してよかった。

誤字があったので注意すること。

インターネットで手帳が出品されているのを見た。管理を徹底してほしい。

01 事業名:ホームページ更新事業

日時:2024年1月1日～2024年12月31日

場所:適宜選定する。

02 事業概要(方法)

・メンテナンス事業

ホームページを閲覧しやすく整備するほか、システムの更新を行った。

・更新事業

システムを常に最新に保つほか、活動後の更新を行った。

03 検証方法と効果

○検証方法と効果

Google Search Consoleを用いて平均検索順位を確認した。

Google アナリティクスを用いてアクティブユーザー数を確認した。

○効果

・最低順位20位から最高順位8位まで向上した。

・総ユーザー数が前年度から19.4%上昇し、12,000名となった。

・イベント数(ユーザーがクリックした回数)が前年度から11.3%上昇し11万となった。

・表示回数が前年度から19.6%上昇し、39,000回となった。

・記事のサムネイルの表示方法を統一し、記事に統一感をもたせることや文章内にリンクを使用するなどSEO対策を行うことで総ユーザー数の増加に加え、検索順位の向上にあてることが出来た。

・SEO対策を行うことで、新たに検索欄からの流入を獲得出来た。

・また、くれえばんに記事を掲載することでくれえばんからホームページへ訪れる仕組みをつくり、新たなユーザーの獲得が出来た。

01 事業名：年間広報事業

日時：2024年1月1日～2024年12月31日

場所：適宜選定する。

02 事業概要(方法)

○コラムの掲載…「ビビっと!通信」

- (1) くれえばん協力会員に加入し、くれえばん内のコラムで呉市にある、隠れた(あまり知られていない)文化的な建造物や歴史的な場所などを中心とした呉市民がビビっ!とくる、学びに繋がるような情報を記事にした。
- (2) 記事を見た人が「この記事を書いている人はどんな人だろう」と興味をもち、コラムに乗せているQRコードからホームページやSNS、音声メディアに流入させることが出来た。
- (3) 記事は毎回広報委員会で作成し、くれえばんに掲載して頂いた。
- (4) 呉青年会議所の情報発信の場としてではなく、呉市民に呉青年会議所に興味を持ってもらうための1つのツールとした。

○音声メディアでの配信…「呉」Cポッキヤ!

- (1) 呉青年会議所で日々活動している会員の思いや、青年会議所活動を通して自身が成長できた話などをインタビュー形式で行った。
- (2) メインパーソナリティは委員長、副委員長の3名とし、サポートメンバーは委員会メンバーの中から選出した。
- (3) 配信は週に1回とし、1人のインタビューを2回に分けて配信した。また、企画を考えることで、呉青年会議所のことを知らない方にもよりフランクに聞いてもらえるような内容にした。
- (4) 視聴者から質問を募集し、視聴者と出演者でコミュニケーションが取れるようにした。
- (5) 事業が近い場合などは担当委員会のメンバーに出演してもらい、告知も同時に行った。
- (6) ポッドキャストで配信し、いつでもアーカイブが聞けるようにした。

○普段の活動や各事業に関する広報

- (1) SNSを利用した広報は呉青年会議所の公式アカウントから発信とし、メンバーに公式アカウントの投稿のシェアやリポストに協力してもらった。
- (2) 事業ごとに、担当委員会が事業参加メンバーによるLINEグループを作成し、各自が事業において撮影した写真などの広報素材を投稿し管理した。担当委員会と連携し、広報委員会から事業の発信を行った。





01 事業名：3月担当例会

日時：2024年3月4日(月) 19:50～20:50

場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間 ZOOM配信

02 事業概要(方法)

当委員会の年間事業目的、並びに事業を周知し協力を得るために下記の通り行った。

- (1) 年間広報事業について、プレゼンテーションを行った。
- (2) 広報活動の必要性について、プレゼンテーションを行った。
- (3) プレゼンテーションにはPower Pointを使用し、写真や図など、実際の事例等を見せながら視覚的にも分かりやすく説明を行った。
- (4) 年間広報事業の1つである「呉」JCポッキヤ!」の公開収録を行った。
- (5) メインパーソナリティーは副委員長の2名とし、呉青年会議所メンバーの中からゲストを選定した。
- (6) ゲストは予め現役メンバーにアンケートを行った結果、金子健太郎君と坂本治人君とした。
- (7) 収録のメインテーマは「呉」JCの魅力って何?」とした。
- (8) LINEを使用しリアルタイムに呉青年会議所メンバー全員にゲストに対しての質問を募集した。収録した回は特別編として後日「呉」JCポッキヤ!」で公開した。配信日は配信の都合上#12とした。



03 検証方法と効果

○検証方法と効果

3月担当例会クイズ・改善点・呉の魅力聞き取り調査を行った。

○効果

公開収録時を生で見ることで呉JCポッキヤ!への興味が高まった。
現役メンバーからも呉JCポッキヤ!を聞いたという声が多くあがるようになった。
年間広報事業についてのクイズの正解率が高く、十分周知出来た。

<クイズ結果>

回答者36名

1) 2024年度Vivid広報委員会が行う年間広報事業は次のうちどれですか？

正答率93.8%

2) くれえばんのコラムでは何を掲載しますか？

正答率84.4%

3) 呉JCポッキヤ!の内容に最もあてはまらないものは次の内どれですか？

正答率: 90.6%



01 事業名：7月担当例会（会員交流例会）

日時：2024年7月1日（月） 19:35～22:00

場所：ビュー・ポートくれ、呉市内

02 事業概要（方法）

会員同士が交流することで、各々が青年会議所活動でどんな思いをもって活動しているかを知るために次を下記の通り行った。

・飛び込め！JCという大海へ！ ～JCを楽しむ秘訣を伝授～

（１）ビュー・ポートくれ内で謎解きを行い、全ての謎を解くことで懇親会会場への招待状が手に入る。コンセプトはJCを楽しむ秘訣とし、今後の活動の一助にもらった。

（２）招待状は鍵がかかった箱の中に入っており、出題される謎を解いていくことで最終的に鍵の番号が手に入る。謎解き開始前に例題を出題し、最初に雰囲気を感じてもらった。

（３）グループ分けは、今年の委員会メンバー以外で構成した４人１組とする。各チームに仮入会員を必ず含め、入会年度もバラバラにする。当欠等の変更は広報委員会で決定した。

（４）懇親会は広報委員会で設営し、バーベキューを行なう。招待状を手に入れた順位により１位から３位のチームには特別賞を用意する。開始６０分ですべてのヒントを提供し、全員がバーベキューに参加出来るようにした。

03 検証方法と効果

○検証方法と効果

各委員会で配布内容についてヒアリング、取りまとめを行った。

○効果

グループで協力して謎解きをすることで絆を深めることが出来た。

あまり話したことの無いメンバーや仮入会員同士で交流することが出来た。

意見を出し合い問題が解けたときに達成感と一体感を感じられた。

景品を用意することで競争意識が生まれ、積極的に謎解きに参加してもらうことが出来た。



step by step

総務委員会

癖を生かす

委員長
山田 達也



スローガン

癖を生かす

「癖を生かす」をスローガンに掲げ全力で、取り組み1年間活動した。私たち一人ひとりには、異なる癖や個性があり、それを無理に変えようとするのではなく、むしろ生かすことで、より良い活動ができるように取り組みました。例会運営では、「過去の事業から学ぶ発表」というテーマで抽選式にて実践。発表担当者は過去の事業計画書や事業報告書を振り返る機会であると共に、現役会員に呉JCTの伝統と強みを知っていただく機会となった。私自身、



過去の事業の議案書を見る機会が増えた。課題を振り返ることで、今後現役会員が行う事業に学びを反映することができる発表となった。例会食は、呉の特産品または、呉の食材をつかった料理を中心にとり入れ、地元の食材を知ってもらう機会とした。

「高知合同例会」では、兄弟歌の演奏を呉青年会議所特別会員平原雅啓先輩、高知青年会議所シニアクラブ森本多麻美先輩に演奏して頂き、全メンバーで兄弟歌合唱をおこなうことで、兄弟との絆を深める機会となった。また、「創立記念日例会」では、新しい試みで、ウェルカムドリンクで特別会員におもてなし、「学びを得た先輩の言葉」を発表させていただき、特別会員の方々から「学びの時間面白かったよ」とのお声をいただいた。また、現役会員が特別会員と積極的に交流する姿が見られ、関係構成ができ、学びを得る場とすることができた。そして「卒業式・納会・卒業送別会」も多くの特別会員、現役会員に出席いただくことができ総務委員会としての役割を果たせたと感じた。一年間、総務委員会委員長としての役を務める中で、失敗も多くあったが、その度に平岡専務、吉田副委員長、東副委員長、委員会メンバーに支えられ、活動することができた。

この一年を通して学んだことに感謝し、この経験を生かし、さらに成長していきたいと思っています。支えてくれた全ての方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

01 事業名:1月担当例会(新年互礼会)

日時:2024年1月5日(金)19:00~21:00

場所:クレイトンベイホテル 3階 天の間, ZOOM配信

02 事業概要(方法)

2024年度度呉青年会議所の理念と基本方針を、例会参加者に伝えることを目的に下記の通り執りおこなった。

- (1)国歌斉唱、JCソング斉唱、JC I クリード唱和、JC I ミッション並びにJC I ビジョン唱和、JC 宣言文朗読並びに綱領唱和。通常のセレモニー実行をした。
- (2)理事長による所信表明をおこなった。
- (3)下記14名の来賓紹介をおこない、特別会員は紙面配布にて紹介をおこなった。
 呉市長 新原 芳明 様
 呉商工会議所 会頭 若本 祐昭 様
 呉市社会福祉協議会 会長 中本 克州 様
 呉市教育委員会 教育長 寺本 有伸 様
 公益社団法人高知青年会議所 理事長 弘田 超 君と高知青年会議所から他9名
- (4)特別会員会会長三宅 清嗣先輩から挨拶を頂いた。
- (5)来賓挨拶を下記2名に頂いた。
 呉市長 新原 芳明 様
 呉商工会議所 会頭 若本 祐昭 様
- (6)懇親会・賀詞交歓
 乾杯後、歓談と賀詞交歓をおこなった。食事は、テーブルビュッフェ形式でおこなった。
 乾杯の発声は下記の通り。
 直前理事長 志々田 裕介君
 賀詞交歓は歓談と、理事役員紹介を挟んでおこなった。
 混乱や渋滞を避けるため、総務委員会が最初に向かうテーブルを指定した。
- (7)理事役員等紹介
 委員長、正副役員、出向者の順におこない、委員長を代表し定森委員長、正副役員を代表し三戸理事長、出向者を代表し渡邊出向理事が挨拶をおこなった。
- (8)謝辞
 担当専務理事より謝辞をおこなった。担当者は下記の通り。
 担当専務理事 平岡 達也 君
- (9)閉会
 「明日のために」の斉唱を、輪を作りおこなった。ソングリーダーを應和先輩、定森先輩がおこなった。
 最後に、中締めのご挨拶を特別会員会 副会長 奥原 祥司先輩がおこなった。
 特別会員にアンケートの協力をお願いし閉会した。

03 検証方法と効果

1) 検証方法

特別会員にアンケートを行った。

参加者53名中、特別会員から25名のアンケートに回答を頂いた。

23名が理念、基本方針を理解できたという結果を得た。

2) 効果

公益社団法人呉青年会議所2024年度の理念と基本方針について、行政や関係諸団体に直接伝えることができた。今後の呉青年会議所の活動に対するご理解、ご協力を頂ける事に繋がる新年互礼会となった。

理事長所信表名においては、VTRから開始し注目を集め、理事長所信表明を力強く伝えられた。

なお、理事長所信表明をより深く伝えるため、事前に理事長所信の作成した裏側や背景の配信を呉JCポッキャ!で配信する告知ができた。



01 事業名：2024年度例会運営

日時：通年

場所：クレイトンベイホテル、ZOOM配信

02 事業概要(方法)

例会規則を周知し遵守を呼びかけ、健全な組織活動を行うことを目的に例会を設営した。
呉青年会議所がおこなった過去の事業をテーマにした3分間スピーチをおこなった。
例会食を、呉の特産品または、呉の食材をつかった料理を一品以上取り入れた。

1. 開会
2. 国家斉唱
3. JCIソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和
6. JCI宣言文朗読並びに綱領唱和
7. 理事長挨拶
8. 理事会報告
9. 出向者報告
10. 慶弔報告・前回出席率の確認
11. 過去の事業から学ぶ発表
12. 休憩(例会食を呉の食材を取り入れたメニューにする。)



03 検証方法と効果

1) 検証方法

過去の事業を知る方法の1つに、過去の事業計画書や事業報告書を読むことがある。事務局に長年のものが保管されており、呉JCIの知的遺産であるが、読む機会が乏しい会員も多いと考える。そこで、これらに触れる機会をするため、事業計画書や事業報告書に記載された内容をまとめ、報告していただくこととした。

2) 効果

過去事業を振り返ることで、現役会員に呉JCIの伝統と強みを知ってもらうことができ、また過去事業で工夫されていた点や、反省点・課題を振り返ることで、今後現役会員が行う事業にそれらの学びを反映することができた。



01 事業名：6月例会（高知合同例会）

日時：2024年6月22日（土）19:00～21:00

場所：クレイトンベイホテル 3F 天の間

02 事業概要（方法）

兄弟JCである公益社団法人高知青年会議所と特別会員との絆を深め、それぞれの成長を促進することを目的とし呉の地で高知合同例会を下記の通り執りおこなった。

（1）通常のセレモニー（高知と合同）

高知青年会議所 副理事長 坂本 耕作
 呉青年会議所 副理事長 金子 健太郎
 高知青年会議所 副理事長 和喰 一泰
 呉青年会議所 副理事長 串山 哲也
 高知青年会議所 専務理事 中屋 聡祐
 呉青年会議所 専務理事 平岡 達也

（2）呉青年会議所理事長挨拶、高知青年会議所理事長挨拶を行った。

2024年公益社団法人呉青年会議所 理事長 三戸 規弘

2024年公益社団法人高知青年会議所 理事長 弘田 超

（3）高知青年会議所シニアクラブ並びに呉青年会議所特別会員会会員紹介を行った。（4）呉青年会議所特別会員会 会長挨拶を行った

呉青年会議所特別会員会 会長 三宅 清嗣 先輩

（5）高知青年会議所シニアクラブ 代表世話人挨拶を行った。

高知青年会議所シニアクラブ 代表世話人 伊藤 真 先輩

（6）呉青年会議所・高知青年会議所理事会報告を行った。

時間の都合上、書面にて行った。

（7）監事講評を行った。

呉青年会議所 高橋 利齋

高知青年会議所シニアクラブ 津野 将志 先輩

（8）記念撮影を行った。**（9）兄弟歌合唱を行った。**

両総務委員会と正副が壇上に上がり、1番は総務のみ、2番からは正副が加わり、3番は会場全体で合唱し、演奏を呉青年会議所特別会員 平原 雅啓 先輩、高知青年会議所シニアクラブ 森本 多麻美 先輩に行って頂いた。

（10）委員会紹介（各委員会1分程度）**（11）きょうだいといっしょ青年会議所クイズを行った。****（12）謝辞・呉青年会議所 専務理事 平岡 達也****（13）明日の為に斉唱を行った。****（14）中締め・呉青年会議所 特別会員会 奥原 祥司 先輩**

03 検証方法と効果

呉青年会議所、高知青年会議所、呉青年会議所特別会員、高知青年会議所シニアクラブにアンケートを行った。

1) 効果

兄弟歌の合唱により、懇親会の雰囲気盛り上げ、高知・呉の絆の醸成する土台を形成できた。きょうだいといっしょ青年会議所クイズを通して、兄弟の歴史に触れ、親睦を深めるきっかけを作ることができた。

呉銘菓の購入に予算を使うことで、呉銘菓のお土産も知ってもらうことができた。

呉銘菓を食べてもらうことで、銘菓が発展した理由も含めた呉市の歴史も知ってもらうことができた。

アンケートでは、高知・呉の絆がさらに深まったという結果を得た。



01 事業名：11月例会(創立記念日例会)

日時：2024年11月9日(土) 19:00～21:00

場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間, ZOOM配信

02 事業概要(方法)

公益社団法人呉青年会議所の創立記念を祝す特別会員から現役会員が、学びをえる目的に下記の通り例会を執りおこなった。

【式典】

- (1) 国歌斉唱、JCソング斉唱 JC I クリード唱和、JC I ミッション並びに JC I ビジョン唱和、JC 宣言文朗読並びに綱領唱和
- (2) 物故会員追悼
- (3) 来賓紹介、特別会員紹介を行った。
 一般社団法人 那覇青年会議所 5名
 理事長 大城 佑斗君
 副理事長 本多 祐允君
 副理事長 野原 雄太君
 副理事長 嘉手納 良多君
 専務理事 玉城 大地君
 呉青年会議所特別会員会 28名
- (4) 理事長挨拶
- (5) 特別会員会 会長挨拶
- (6) 来賓挨拶
- (7) 写真撮影



【懇親会】

- (1) 乾杯
- (2) 次年度メンバー紹介
- (3) 歓談
- (4) 学びを得た先輩の言葉の発表
- (5) 担当専務理事謝辞
- (6) 「明日のために」斉唱
- (7) 中締め
- (8) 懇親会閉会



03 検証方法と効果

現役会員と特別会員へアンケートにて聞き取った。

1) 効果

現役会員と特別会員へアンケートにて聞き取った。

参加者75名中(呉青年会議所41名、呉青年会議所特別会員28名、那覇青年会議所5名、事務局員1名)のうち、呉青年会議所14名、呉青年会議所特別会員7名、那覇青年会議所0名に回答を頂いた。

学びの発表を入れたことで現役会員の学びを得る機会となった。



01 事業名：12月第一例会（次年度担当例会）

日時：2024年12月2日（土）19:00～21:00
 場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間, ZOOM配信

02 事業概要（方法）

2025年度公益社団法人呉青年会議所の基本方針をメンバー全員が理解することを目的に下記の通り例会を執りおこなった。

- ①開会
- ②スローガン披露
- ③理事長所信及び基本方針の説明
- ④正副役員等紹介
- ⑤出向者紹介
- ⑥委員会紹介
- ⑦監事講評
- ⑧若い我等斉唱
- ⑨閉会

03 検証方法と効果**1) 検証方法**

全現役会員に、理事長の所信表明と委員長の基本方針を前々日、前日、当日の3日連続でLINEにて配信し例会までに1回以上読むように促し、各委員会の委員長が読んだか確認の連絡をする。

2) 効果

次年度の基本方針を事前に配信することで、次年度の方針を周知することができ、次年度へ向け全体のモチベーションが向上できた。



01 事業名：12月第例会（卒業式・納会・卒業送別会）

日時：2024年12月21日（土）18:00～21:00
 場所：クレイトンベイホテル 3階 天の間, ZOOM配信

02 事業概要（方法）

卒業生の功績を称え、後を受け継ぐメンバーとの絆を深めることを目的に下記の通り例会を執りおこなった。

【卒業式】

- ①開会・卒業生入場
- ②国歌斉唱、JCソング斉唱 JC I クリード唱和、JC I ミッション並びに JC I ビジョン唱和、JC 宣言文朗読並びに綱領唱和
- ③理事長挨拶
- ④卒業生紹介、感謝状授与並びに卒業生挨拶
- ⑤送辞朗読
- ⑥答辞朗読
- ⑦閉会・卒業生写真撮影

【納会】

- ①開会
- ②年間総括動画、理事長総括動画
- ③プレジデンシャルリース伝達
- ④理事長予定者挨拶
- ⑤ JC 旗伝達
- ⑥特別会員会 会長 挨拶
- ⑦閉会

【卒業送別会】

- ①開会、卒業生入場
- ②特別会員紹介
- ③乾杯
- ④歓談
- ⑤卒業生へのメッセージ動画
- ⑥卒業生の演出
- ⑦歓談
- ⑧謝辞
- ⑨明日にため斉唱



03 検証方法と効果

1) 検証方法

現役会員及び卒業生(W E Bアンケート)を行う

卒業生の功績をたたえ気持ちよく送り出すことができましたか？

回答した全員が「はい」と答え、卒業生を気持ちよく送り出すことができた。

2) 効果

卒業生との絆を再確認でき、現役会員の当団体へのモチベーションも上がり、卒業生の設えも素晴らしい設えと絶賛いただいた。



公益社団法人 呉青年会議所

会計報告書

自 2024年1月1日
至 2024年12月31日

【呉青年会議所】

貸 借 対 照 表

2024年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,727,002	1,915,658	-188,656
未収金	1,211,880	393,050	818,830
貯蔵品	45,000	28,600	16,400
△貸倒引当金	48,400	15,700	32,700
流動資産合計	2,935,482	2,321,608	613,874
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
周年事業積立資産	3,750,047	2,700,000	1,050,047
退職給付引当資産	2,580,000	2,526,000	54,000
特定資産合計	6,330,047	5,226,000	1,104,047
固定資産合計	6,330,047	5,226,000	1,104,047
資産合計	9,265,529	7,547,608	1,717,921
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	50,000	50,000	0
預り金	624,761	602,463	22,298
流動負債合計	674,761	652,463	22,298
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,580,000	2,526,000	54,000
固定負債合計	2,580,000	2,526,000	54,000
負債合計	3,254,761	3,178,463	76,298
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	6,010,768	4,369,145	1,641,623
(うち特定資産への充当額)	(3,750,047)	(2,700,000)	(1,050,047)
正味財産合計	6,010,768	4,369,145	1,641,623
負債及び正味財産合計	9,265,529	7,547,608	1,717,921

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	(1,200,000)	(1,350,000)	(-150,000)
受取入会金	1,200,000	1,350,000	-150,000
受取会費	(11,724,000)	(11,643,000)	(81,000)
普通会員受取会費	7,479,000	7,398,000	81,000
特別会員受取会費	4,245,000	4,245,000	0
事業収益	(550,000)	(175,000)	(375,000)
登録料収入	550,000	175,000	375,000
受取寄付金	(16,930)	(4,318,236)	(-4,301,306)
寄付金収入	16,930	4,318,236	-4,301,306
雑収益	(302,508)	(277,481)	(25,027)
受取利息	608	101	507
雑収入	301,900	277,380	24,520
経常収益計	(13,793,438)	(17,763,717)	(-3,970,279)
(2) 経常費用			
事業費	(7,638,946)	(12,677,292)	(-5,038,346)
給与手当	1,519,550	1,519,550	0
福利厚生費	475,039	689,614	-214,575
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	141,862	178,912	-37,050
消耗品費	483,289	1,430,286	-946,997
印刷製本費	596,450	923,199	-326,749
光熱水料費	66,629	70,527	-3,898
賃借料	681,970	677,970	4,000
保険料	62,323	28,276	34,047
諸謝金	899,000	1,139,000	-240,000
支払助成金	250,000	250,000	0
委託費	398,575	2,693,567	-2,294,992
会場費	479,160	443,160	36,000
レンタル料	267,000	97,400	169,600
記念品費	480,711	543,712	-63,001
広告費	731,188	1,841,519	-1,110,331
清掃費	79,200	79,200	0
退職給付費用	27,000	27,000	0
雑費	0	44,400	-44,400

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
管理費	(4,512,869)	(4,479,399)	33,470
給与手当	1,519,550	1,519,550	0
福利厚生費	264,251	256,224	8,027
会議費	24,695	12,100	12,595
通信運搬費	241,664	274,940	-33,276
消耗品費	115,766	95,149	20,617
印刷製本費	44,440	69,080	-24,640
光熱水料費	66,629	70,526	-3,897
賃借料	681,970	677,970	4,000
諸謝金	114,500	131,000	-16,500
租税公課	0	21,000	-21,000
支払手数料	202,836	201,171	1,665
清掃費	79,200	79,200	0
図書費	155,250	154,000	1,250
諸会費	787,099	776,014	11,085
退職給付費用	27,000	27,000	0
貸倒引当金繰入額	32,700	0	32,700
雑費	146,319	114,475	31,844
寄付金	9,000		9,000
経常費用計	(12,151,815)	(17,156,691)	-5,004,876
評価損益等調整前当期経常増減額	【 1,641,623 】	【 607,026 】	【 1,034,597 】
評価損益等計	(0)	(0)	(0)
当期経常増減額	【 1,641,623 】	【 607,026 】	【 1,034,597 】
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額		31,300	-31,300
経常外収益計	(0)	(31,300)	(-31,300)
(2) 経常外費用			
会費等回収不能額		244,840	-244,840
経常外費用計	(0)	(244,840)	(-244,840)
当期経常外損益増減額	【 0 】	【 -213,540 】	【 213,540 】
指定正味財産からの振替額	(0)	(0)	(0)
当期一般正味財産増減額	【 1,641,623 】	【 393,486 】	【 1,248,137 】
一般正味財産期首残高	4,369,145	3,975,659	393,486
一般正味財産期末残高	6,010,768	4,369,145	1,641,623
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
特定財産運用益			
預金利息収入	(0)	(0)	(0)
一般正味財産への振替額	(0)	(0)	(0)
当期指定正味財産増減額	【 0 】	【 0 】	【 0 】
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	【 6,010,768 】	【 4,369,145 】	【 1,641,623 】

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書内訳表

2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	共通	小計	他1	共通	小計			
Ⅰ. 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 受取入会金	(1,200,000)		(1,200,000)	(0)		(0)	(0)		(1,200,000)
受取入会金	1,200,000		1,200,000			0	0		1,200,000
② 受取会費	(5,862,000)		(5,862,000)	(1,787,551)		(1,787,551)	(4,074,449)		(11,724,000)
普通会员受取会費	3,739,500		3,739,500	1,138,670		1,138,670	2,600,830		7,479,000
特別会員受取会費	2,122,500		2,122,500	648,881		648,881	1,473,619		4,245,000
③ 事業収益	(550,000)		(550,000)	(0)		(0)	(0)		(550,000)
登録料収入	550,000		550,000			0			550,000
④ 受取寄付金	(16,930)		(16,930)	(0)		(0)	(0)		(16,930)
寄付金収入	16,930		16,930						16,930
⑤ 雑収益	(0)		(0)	(0)		(0)	(302,508)		(302,508)
受取利息						0	608		608
その他収益						0	301,900		301,900
経常収益計	7,628,930	0	7,628,930	1,787,551		1,787,551	4,376,957	0	13,793,438
(2) 経常費用									
事業費	(5,851,395)		(5,851,395)	(1,787,551)		(1,787,551)			(7,638,946)
給与手当	1,519,550		1,519,550			0			1,519,550
福利厚生費	264,251		264,251	210,788		210,788			475,039
通信運搬費	103,570		103,570	38,292		38,292			141,862
消耗品費	392,979		392,979	90,310		90,310			483,289
印刷製本費	11,110		11,110	585,340		585,340			596,450
光熱水料費	66,629		66,629			0			66,629
賃借料	681,970		681,970			0			681,970
保険料	55,999		55,999	6,324		6,324			62,323
諸謝金	735,000		735,000	164,000		164,000			899,000
支払助成金	250,000		250,000			0			250,000
委託費	288,000		288,000	110,575		110,575			398,575
会場費	137,600		137,600	341,560		341,560			479,160
レンタル料	267,000		267,000			0			267,000
記念品費	480,711		480,711			0			480,711
広告費	490,826		490,826	240,362		240,362			731,188
清掃費	79,200		79,200			0			79,200
退職給付費用	27,000		27,000			0			27,000
雑費	0		0			0			0
管理費	()		()	()		()	(4,512,869)		(4,512,869)
給与手当							1,519,550		1,519,550
福利厚生費							264,251		264,251
会議費							24,695		24,695
通信運搬費							241,664		241,664
消耗品費							115,766		115,766
印刷製本費							44,440		44,440
光熱水料費							66,629		66,629
賃借料							681,970		681,970
謝礼金							114,500		114,500
租税公課							0		0
支払手数料							202,836		202,836
清掃費							79,200		79,200
図書費							155,250		155,250
諸会費							787,099		787,099
退職給付費用							27,000		27,000
貸倒引当金繰入							32,700		32,700
雑費							146,319		146,319
寄付金							9,000		9,000
経常費用計	5,851,395	0	5,851,395	1,787,551	0	1,787,551	4,512,869	0	12,151,815
当期経常増減額	1,777,535	0	1,777,535	0	0	0	-135,912	0	1,641,623
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0		0	0		0	0		0
貸倒引当金戻入									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
会費等回収不能額			0						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外損益増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産からの振替			0	0		0			0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0		0	0
当期一般正味財産増減額	1,777,535	0	1,777,535	0	0	0	-135,912	0	1,641,623
一般正味財産期首残高			0	0		0			0
一般正味財産期末残高	1,777,535		1,777,535	0		0	-135,912		1,641,623
Ⅱ. 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替			0			0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			0			0	0		0
指定正味財産期末残高	0		0	0		0	0		0
Ⅲ. 正味財産期末残高	1,777,535		1,777,535	0		0	-135,912		1,641,623

財務諸表に対する注記**I 重要な会計方針**

引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上しております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

II 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
【特定資産】				
周年事業積立資産	2,700,000	1,050,047	0	3,750,047
退職給付引当資産	2,526,000	54,000	0	2,580,000
合計	5,226,000	1,104,047	0	6,330,047

III 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充 当額)	(うち一般正味財産からの充 当額)	(うち負債に対応する額)
【特定資産】				
周年事業積立資産	3,750,047	(0)	(1,050,047)	(—)
退職給付引当資産	2,580,000	(0)	(0)	(2,580,000)
合計	6,330,047	0	1,050,047	2,580,000

IV その他

- ・未収会費の回収不能額の計上については、3ヶ年を超えて支払請求を通知したにもかかわらず、支払意思の表示が全く確認されないものを計上処理している。

附属明細書**I 特定資産の明細**

注記に記載しているため、省略する。

II 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,526,000	54,000	0	0	2,580,000

財産目録

2024年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	270,375	
	預金	【普通預金】 呉信用金庫本店営業部 呉信用金庫本店営業部 もみじ銀行呉営業部 広島銀行呉支店	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	142,529 667,307 301,745 345,046	
		〈現金・預金計〉			1,727,002
		未収金	現役会員25名 特別会員15名 貸倒引当金	当会計期間内に会員が納入すべき会費等の未収分である	1,211,880
				△ 〈未収金計〉 48,400 1,163,480	
	貯蔵品	JCバッチ15個		〈貯蔵品計〉 45,000	
	流動資産合計				2,935,482
(固定資産) 特定資産	周年事業積立資産	【普通預金】 呉信用金庫本店営業部	No0067878	2,700,000	
		呉信用金庫本店営業部	No1039248 周年事業の積立資金として管理している	1,050,047	
	退職給付引当資産	【定期預金】 広島銀行呉支店	No3045298 職員退職給付の引当資産として管理している	2,580,000	
		〈特定資産計〉 6,330,047			
	固定資産合計			うち特定資産	6,330,047
資産合計				9,265,529	
(流動負債)	未払金	(有)空本印刷所	2024年度事業報告書作成費	50,000	
	預り金	現役会員	現役会員個人が負担すべき例会食事代及び登録料等の支払いのための預り金である	449,144	
		源泉所得税・市民税・社会保険料	職員の給与より源泉徴収した源泉所得税及び県市民税、社会保険料	175,617	
	〈未払金・預り金計〉			674,761	
流動負債合計				674,761	
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	【退職給付引当金】 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員1名分の退職給付金 〈退職給付引当金計〉	2,580,000	
固定負債合計				2,580,000	
負債合計				3,254,761	
正味財産				6,010,768	

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長 三戸規弘 殿

2025年1月20日

公益社団法人 呉青年会議所

監事 高橋 利齊 
監事 下中 嘉也 

私たち監事は、2024年1月1日から2024年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備を努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長 三戸規弘 殿

2025年1月20日

広島県呉市中通2丁目4番14号

武安会計事務所
監査人・税理士

武安 綾二 

上記、公益社団法人呉青年会議所2024年度収支決算報告書に関して本職は補助者2名をもって、公益社団法人呉青年会議所会計全般における現金の実査、預貯金の残高確認、諸帳簿の記帳確認、証憑書類、関係書類の照合確認等監査致しました結果、すべて適正・適法に処理が為されて且つ上記のとおり正当に表示されていることを認めます。



Junior Chamber International **Kure**
公益社団法人 呉青年会議所



公式ホームページ



Instagram



Facebook



Podcat
「呉JCポッキヤ!」



公式LINE